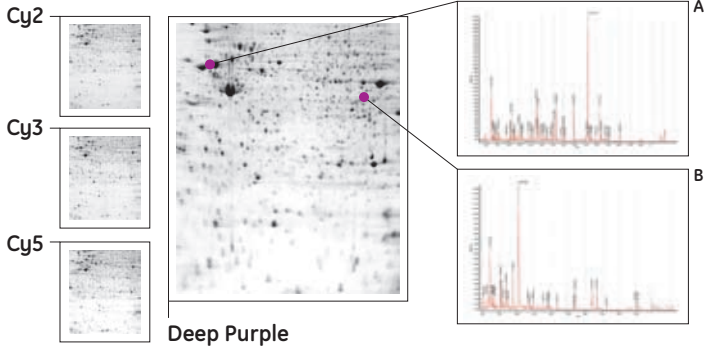


## 二次元電気泳動後のMALDI-ToF MS 解析



Deep Purple は Ettan DIGE タンパク質発現差異解析システムのワークフローにも組み込むことができます。CyDye DIGE fluor (Cy2, Cy3, Cy5) で標識したタンパク質を二次元電気泳動して発現に変化が見られるスポットを検出した後、MS サンプル調製用のゲルは Deep Purple Total Protein Stain で染色しました。図中に示したスポットを切り出し、Ettan MALDI-ToF Pro 質量分析計で解析してタンパク質を同定しました。スポット A は vimentin (pI : 5.0, MW : 53,700)、B は isocitrate dehydrogenase (pI : 6.2, MW : 46,000) であることがわかりました。